

**公益社団法人インテリア産業協会**  
**平成29年度事業報告**  
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

**I 基本方針関連（概要）**

年度当初に掲げた基本方針関連の事業の概要については次のとおりです。

**1) IC・KS有資格者の能力向上・育成関係**

有資格者の能力向上・育成のために、有資格者の経験に応じた勉強会や各種セミナーを、全国9支部で71件実施しました。

**2) インテリア普及啓発関係**

一般生活者を対象としたイベントや、若い世代に向けたインテリア普及活動（中学、高校生向けの補助教材作成・配布等含む。）を全国で77件実施しました。

**3) 広報活動**

一般生活者や資格者向けのメールマガジン配信などを行うマイページについて、システム統合プロジェクトによる改良に着手しました。また、資格の魅力をより一層訴求できるウェブサイトのコンテンツ開発や、地下鉄広告等の新しい媒体による告知にも取り組みました。

**II 個別事業**

**1. 教育・情報提供事業**

**1-1 IC/KSハンドブック等の書籍頒布、KSハンドブックの改訂**

ICまたはKS資格認定試験を受けようとする人、インテリアについて学ぼうとする人などに対する書籍頒布については、「インテリアコーディネーターハンドブック統合版」6刷版の増刷を行い、頒布に供しました。また、KS資格認定試験の教本として活用されているKSハンドブックの改訂を行い、「改訂二版キッチンスペシャリストハンドブック」を平成30年1月に発刊しました。

**1-2 資格取得の学習等を支援する通信教育事業**

通信教育事業については、IC・KS資格試験の受験を目指すなどインテリアについて学ぼうとする受講申込者に対して、次のとおり講座を実施しました。

- ① IC受験講座（総合／一次／実技）：のべ305人(前年度332人)が受講しました。
- ② KS受験講座（総合／学科／実技）：のべ134人(前年度155人)が受講しました。

また、KSハンドブックの改訂に伴い、KS講座の教材テキストの改訂も行いました。

**1-3 能力向上等のためのIC・KS有資格者へのインターネットによる情報提供**

資格者へのメールマガジン配信は、定期配信を年間24回、会員企業・団体からの申請に基づく不定期配信を年間97回行い、資格者への情報提供の充実を図りました。

ウェブサイトについては、資格試験などの必要な情報の更新を行うなど適切に運営しました。

## 2. 資格認定試験事業

### 2-1 IC資格認定試験

第35回IC資格認定試験を、次のとおり実施しました。

- ・一次試験 平成29年10月8日(日)
- ・二次試験 平成29年12月3日(日)
- ・試験会場 次の全国12地域

札幌、盛岡、仙台、高崎、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡、沖縄  
合格者数等の結果は次のとおり。

#### ■平成29年度(第35回)一次試験・二次試験別申込者・受験者・合格者の概要

【一次試験】(人)		【二次試験】(人)	
受験申込者数	9,407	二次受験対象者数	3,916(内:一次免除者1,465)
受験者数	8,202	受験者数	3,417(内:一次免除者1,135)
一次合格者数	2,541	二次合格者数	1,931
一次合格率	31.0%	二次合格率	56.5%

#### ■合格者の推移

実施回[年度]	受験者数 <sup>(注)</sup>	合格者数 (二次合格者数)	合格率
平成29年度[第35回]	8,569	1,931	22.5%
平成28年度[第34回]	8,589	2,055	23.9%
平成27年度[第33回]	9,154	2,063	22.5%
平成26年度[第32回]	9,361	2,297	24.5%
平成25年度[第31回]	9,605	2,362	24.6%

注:一次・二次の試験を通じて、当該年度に資格取得まで目指した受験者数

### 2-2 KS資格認定試験

第30回KS資格認定試験を、次のとおり実施しました。

- ・試験日 平成29年12月3日(日)(IC二次試験と同日)
- ・試験会場 全国12地域(IC二次試験と同地域)

合格者数等の結果は次のとおり。

#### ■合格者の推移

年度	申込者数			資格取得対象 受験者数	合格者数	合格率
	総合	実技・学科	総数			
H29年度[第30回]	939	362	1,301	1,050	397	37.8%
H28年度[第29回]	1,096	323	1,419	1,159	417	36.0%
H27年度[第28回]	931	366	1,297	1,050	441	42.0%
H26年度[第27回]	875	341	1,216	975	338	34.7%
H25年度[第26回]	868	354	1,222	997	394	39.5%

### 3. 資格更新登録事業

#### 3-1 登録更新業務の実施

定常的なIC・KS資格者の登録更新業務を、資格登録システムを利用して確実に実施しました。連絡先住所不明者に対する登録メールアドレスによる住所照会、電話照会を引き続き行い、更新案内の徹底を図りました。

平成29年度の新規登録者を加えて、年度末における登録資格者数は次のとおりです。

・IC資格登録者数： 57,272人（前年度末：56,506人）

・KS資格登録者数： 8,575人（前年度末：8,486人）

#### 3-2 更新者への情報の提供

資格者の活動に有益な知識・情報を盛り込んだ「IC・KS読本」を最新化するとともに、各章のポイントを記載するなどの改善を図りました。平成28年度版で好評であった「インテリアトレンド情報」を更新し、更新該当者全員に、更新案内に添えて提供しました。

#### 3-3 資格者の就業状況等の実態把握調査

今後の資格者の育成等に役立てる基礎的情報を得るために行った「資格者基礎アンケート調査」については、IC・KS更新予定者約19,500人に対して行いました。今後はアンケート結果の分析を進め、調査結果を有効活用する予定です。

### 4. 講座等開催事業・IC団体との連携・協力

#### 4-1 能力向上・インテリア普及啓発講座等の開催

(1) IC・KS有資格者の能力向上及び一般生活者へのインテリアの普及啓発のために、会員企業等の参画を得つつ各地域の支部が主体となって、全国各地で講座、講演会等のセミナーを以下のとおり開催しました。開催については、ウェブサイトやMYページのほかメールマガジンを利用し広く案内し、参加の機会を拡げるよう努めました。講座等の実施運営にあたっては、経費の一部に受講者からの参加料を充てて効率的に行いました。

##### ①北海道支部（9件）

◇「北海道暮らしから育てるインテリアキャンペーン2017」

（札幌、北見、帯広、函館、旭川、霜月の地域で開催）

◇「インテリアプレゼンテーションボード制作実習」 など

##### ②東北支部（11件）

◇「インテリアワークショップ 壁紙でつくるアートパネル」

◇「インテリア「美」「撮」セミナー」 など

##### ③関東甲信越支部（35件）

◇七夕セミナー 千葉市生涯学習センター

◇超高齢化社会の暮らしとデザイン など

##### ④中部支部（28件）

◇「名古屋新人研修会」

◇「あいち住まいるフェア2017」 など

##### ⑤関西支部（9件）

◇「パース集中講座」

◇「リビング&デザイン2017」 など

⑥中国支部（10件）

- ◇「IC/KSスキルアップセミナーin宇部」
- ◇「ビジネスフォーラム」など

⑦四国支部（3件）

- ◇「インテリアフェア2017 in えひめ内子」
- ◇「インテリアフェア2017 in かがわ善通寺」など

⑧九州支部（37件）

- ◇「IC・KS向け「知識・技術向上」事例研究会」
- ◇「インテリアフェスティバル in 九州 2017」など

⑨沖縄支部（6件）

- ◇「イタリアンファニチャーにおける、コントラクトビジネス」
- ◇「スキルアップセミナー」など

(2) 高等学校のインテリア系学科の生徒等を対象に「インテリアの出前業」と称し、インテリアコーディネーションやICの仕事などに関するセミナーを次のとおり行いました。

- ①中部支部 1件（名古屋市立工芸高校）
- ②関西支部 1件（松蔭女子大学）
- ③中国支部 1件（広島県立宮島工業高校）
- ④九州支部 2件（長崎県立長崎工業高校）

#### 4-2 IC団体との連携・協力及びその活動支援

各地域のIC団体との連携・協力については、前述の各支部における講座開催事業において、テーマ募集・企画・実施を通じて連携・協力したほか、共同開催するなどして活動を支援しました。

### 5. 調査研究支援事業

IC・KS等が行う調査・研究への支援として、昨年同様、キッチン、インテリアにてテーマ公募・選定を行い、次のとおり全5件のテーマに対して活動資金を助成しました。

- ①応募テーマ数 6件（キッチン関係：1件、インテリア関係：5件）
- ②採択テーマ数 5件（キッチン関係：1件、インテリア関係：4件）
- ③採択テーマ名（応募者）

#### 【キッチン関係】

- ◇自炊学生が日々の生活でキッチンをどのように捉え、どのように使っているかの意識調査（学生アパート用のキッチン研究会）

#### 【インテリア関係】

- ◇100歳住宅～超高齢化社会『暮らしやすさ』をインテリアから考える指標づくり（日本フリーランスインテリアコーディネーター協会超高齢社会をインテリアから考える暮らしやすさ研究会）
- ◇小さく暮らすってどういう事？～居心地の良さを考える～（あおもりインテリアコーディネーター倶楽部）
- ◇ブラインド等のひもの安全に関する調査（草刈 和子）
- ◇インテリアワークショップを通して暮らしの楽しさを子どもたちに伝えるための教育現場への普及についての研究（KIWI labo）

## 6. コンテスト事業

IC・KS資格制度の普及と資格者の能力向上を目的に、誰もが自由に応募可能な以下のコンテストを継続実施しました。優秀作品については、協会ウェブサイトでの掲載や展示会などインテリア普及イベントの場で紹介の場を設けると同時に、昨年度に引き続き「作品集」および入賞作品を掲載した「年度型カレンダー」を制作して広く頒布し、事業の普及に努めました。

### 6-1 「住まいのインテリアコーディネーションコンテスト」

本年度も経済産業大臣賞、経済産業省製造産業局長賞の下付を受けて、次のとおり実施しました。昨年に引き続き高校生部門については就職や進学に活かせるよう一般部門に先駆けて実施しました。

#### 【一般部門】

①応募受付期間 平成29年11月1日～11月15日

②募集内容（応募作品数）

◇事例分野

新築部門（30） リフォーム部門（44） スタyling部門（16）

◇課題分野

A部門 「私だけのインテリア空間」（224）

B部門 「窓を活かしたユニークなリビング空間」（74）

③応募総数388作品

④審査結果 経済産業大臣賞1作品、製造産業局長賞1作品、会長賞2作品、部門賞5作品、優秀賞、5作品、審査員特別賞4作品、合計18作品

⑤上位入賞作品一覧

#### ■事例分野

受賞名	応募部門	作品名	入賞者(代表者)
経済産業大臣賞	リフォーム部門	風雪に耐えた古民家に光るアート	キタデザインチーム
協会会長賞	新築部門	狭小地の家	石本 輝旭
部門賞	新築部門	ビンテージリゾートハウス	高宮 透
	リフォーム部門	好きなものと暮らす明るい家	LOHAS・studio デザインチーム
	スタイリング部門	KARAFURU	柴崎 あすか

#### ■課題分野

受賞名	応募部門	作品タイトル	入賞者(代表者)
製造産業局長賞	A部門	四季をかたちにする「和紙工房」	松井 香奈
協会会長賞	B部門	趣味を取り入れた息子の為の空間	安次嶺 実奈子
部門賞	A部門	100-doors drawer	池川 健太
	B部門	空気を纏う発電カーテン	大和田 卓

#### 【高校生部門】

①応募受付期間 平成29年7月6日～7月26日

②募集テーマ 私が変わる!!リビング空間

③応募総数 118作品（20校）

④審査結果 会長賞1作品、高校生部門賞1作品、優秀賞2作品、奨励賞4作品  
合計8作品

⑤上位入賞作品一覧

賞名	作品名	入賞者氏名	所属高等学校	学年
協会会長賞	魔女の館	西 友香	広島県立宮島工業高等学校	3年
部門賞	Change the color Change your mind	山口 蒼太	東京都立工芸高等学校	3年
優秀賞	芸術家にチェンジ	村田 真南	千葉県立市川工業高等学校	3年
	Indoor→Outdoor	川島 奈月	千葉県立市川工業高等学校	3年

6-2 「キッチン空間アイデアコンテスト」

募集要項を関係各種機関へ配布し、K・S・I・Cメルマガ、協会ウェブサイトでの募集、コンテスト専門ウェブサイト（登竜門）等を広報に利用し、次のとおり実施しました。

①応募受付期間 平成29年9月1日～10月31日

②応募テーマ「こんな人にこんなキッチンを伝えたい」

A. 団らん・優しいキッチン空間

B. 暮らしが変わったキッチンリフォーム空間

③応募総数 316作品（A部門288 B部門28）

④審査結果 協会会長賞1作品、部門賞2作品、優秀賞6作品、奨励賞12作品  
合計21作品

⑤上位入賞作品一覧

受賞名	応募テーマ	作品タイトル	入賞者(代表者)
協会会長賞	B	3.03 m <sup>2</sup> × 3.6mm	田中 昭成
部門賞	A	単身者のための晩ごはんキッチン	三河 友佳理
	B	みんなのキッチン	黒川 智之
優秀賞	A	キッチンから“つながり”はじめよう	飯塚 圭佑
	A	つながるキッチン	岡田 弥優
	A	多国籍食堂	上杉 信介
	A	男のキッチンステージ	高橋 ひいろ
	B	ホームイダイニング OFFICE	西村 崇
	B	みんなが集う「場」	佐々木 倫子

6-3 作品集および入賞作品カレンダーの制作

作品集および上位入賞作品を掲載した年度型カレンダーを制作して、応募関連先や学校等に頒布しました。

①作品集

◇住まいのインテリアコーディネーションコンテスト作品集 (2,000部)

◇キッチンアイデアコンテスト作品集 (2,000部)

◇住まいのインテリアコーディネーションコンテスト高校生部門作品集 (400部)

②カレンダー

◇住まいのインテリアコーディネーションコンテスト一般部門及びキッチン空間アイデアコンテストの統合版 (300部)

◇住まいのインテリアコーディネーションコンテスト高校生部門版 (300部)

## 7. インテリア普及啓発・展示会開催事業

### 7-1 展示会事業

本年度は本部・支部において、12件のインテリア関連展示会の主催、共催又は出展を行い、生活者向けインテリアの普及、資格者の能力・認知向上を図りました。

#### (1) 本部が参画した展示会（6件）

- ① 「World interiors Week in Japan」  
期間 平成29年5月25日～31日  
場所 東京ミッドタウン（デザインハブ内）  
内容 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト過去3年の上位入賞作品の展示  
形態 （公社）日本インテリアデザイナー協会、日本インテリアデザイナー協会の共催展示会への出展
- ② 「DO！インテリア ～ワークショップを通じて知る色とインテリア～」  
期間 平成29年10月～平成30年2月の期間内（のべ5日 10回）  
場所 リビングデザインセンターOZONE内会場（7F）  
内容 生活者参加型のインテリアに関連した小物作り等のワークショップとセミナー  
形態 リビングデザインセンターOZONEの協力による
- ③ 「JAPANTEX 2017」  
期間 平成29年11月15日（水）～17日（金）  
場所 東京ビッグサイト東ホール  
内容 主催者の特別企画展示に、当協会が協同企画者として参加し、展示やセミナーに関する協力を行いました。  
テーマ：WINDOWS PARADISE（窓樂園）  
ICおよび窓装飾プランナーのダブルライセンス資格者7名による窓空間のコーディネーション・アイデアの展示を行いました。  
形態 （一社）日本ファブリックス協会との共同企画による
- ④ 「東京インターナショナル・ギフト・ショー春2018 LIFE×DESIGN」  
期間 平成30年1月31日（水）～2月2日（木）  
場所 東京ビッグサイト東ホール  
内容 平成29年度住まいのインテリアコーディネーションコンテスト、キッチン空間アイデアコンテスト入賞作品の展示  
形態 （株）ビジネスガイド社主催の展示会への出展
- ⑤ 「エコプロ2017」  
期間 平成29年12月7日（木）～9日（土）  
場所 東京ビッグサイト西ホール  
内容 DO！インテリア～ワークショップ～  
OZONEでの実施内容の抜粋編＋ジグソーパズル  
形態 日本経済新聞社主催展示会への出展
- ⑥ 「商空間・住空間NEXT2018」  
期間 平成30年3月6日（火）～9日（金）  
場所 東京ビッグサイト西ホール

内容 ケアリングデザイン・照明等の次世代に向けたインテリアのコンセプト紹介およびコンテストの大臣賞リフォーム事例の紹介等

形態 日本経済新聞社主催展示会への出展

## (2) 支部が参画した展示会（6件）

### ① 東北支部

「こんな部屋いいな」絵画コンテスト（第15回）

期間 平成30年2月20日（火）～25日（日）

場所 仙台 東北電力グリーンプラザ

内容 仙台市を中心にした宮城県下の小学生作品のコンテストと展示

形態 (公社)インテリア産業協会東北支部主催 宮城 I C 倶楽部協力 仙台市・宮城県各同教育委・NHK 仙台放送局、他後援

応募 1, 817 作品

### ② 九州支部（2件）

「こんな部屋いいな」絵画コンテスト【鹿児島地域】

期間 平成30年3月3日（土）～4日（日）

場所 鹿児島市 かごしま県民交流センター

内容 鹿児島市内の小学生絵画作品のコンテストと展示

形態 九州支部と鹿児島 I C 協会の共催 鹿児島市教育委後援

応募 1, 964 作品

「こんな部屋いいな」絵画コンテスト【福岡地域】

期間 平成29年7月26日（水）

場所 福岡市 西鉄グランドホテル

内容 福岡市内の小学生絵画作品のコンテスト展示

形態 九州支部と福岡 I C 協会の共催 福岡市・福岡市教育委後援

応募 254 作品

### ③ 関西支部

「リビング&デザイン2017」

場所 大阪 A T C ホール

期間 平成29年10月11日（水）～13日（金）

内容 協会事業紹介・インテリア普及関係展示

形態 「LIVING&DESIGN2017」実行委員会主催に出展

### ④ 沖縄支部（2件）

「第32回 あったらしいなこんな家、こども絵画コンクール」

期間 平成29年10月20日（金）～22日（日）

場所 沖縄コンベンションセンター

内容 小学生の絵画を一般公募入選作品の展示、入賞作品の表彰子供関連事業への寄付

形態 協力：協賛企業・団体40社

応募 427 点

「第2回 沖縄トータルリビングショウ」

期間 平成29年10月20日（金）～22日（日）

場所 沖縄コンベンションセンター



内容 IC企画展示、インテリアワークショップ

形態 沖縄タイムス社主催に出展（協力：沖縄IC協会、JDC沖縄支部）

## 7-2 展示会以外のインテリア普及啓発活動

### (1) 中学校技術家庭科用のインテリア副読本の作成配布

中学生向けの「技術家庭科・副読本」については、例年と同様に配布を行った結果、中学校998校、約154,000部の実績となり、インテリアの普及を図りました。また、アンケート結果を参考に、ワークシートのさらなる改善を図りました。

### (2) 高校家庭科(住まい関係)用の学習指導用DVD教材の配布

高校生向けの家庭科指導用補助教材として一昨年配布したDVDの活用が進まなかったため、本年度の追加制作は一旦ペンディングとしました。一方で現場教師のヒアリングによる要望を勘案し、新たに冊子(中学校用冊子を高校生向けにリニューアル)の制作を行う方針とし、平成30年度の配布に向けた準備を開始しました。

### (3) 地域の図書館と連携した一般生活者向けインテリアセミナーの開催

各地域の公立図書館の協力による生活者向けのセミナーを次のとおり開催し、インテリアの普及とICの認知向上を図りました。

- |          |    |               |
|----------|----|---------------|
| ①北海道支部   | 1件 | (帯広市図書館)      |
| ②関東甲信越支部 | 6件 | (東海村図書館ほか)    |
| ③中部支部    | 3件 | (伊勢市立小俣図書館ほか) |
| ④中国支部    | 1件 | (三次市図書館)      |

## 8. 交流活動

インテリア関連の業界団体、教育機関、学術団体等との連携、関連メディアとの交流を引き続き推進しました。また、内閣府、経済産業省など関係官公庁との連絡を的確に行い、当協会の諸事業の適正な運営に努めました。

## III 協会の組織運営

### 1. 協会本部に設置する委員会組織体制と主な活動内容

外部有識者や協会会員企業により委員会を構成し、協会各事業の実施・運営方針等を審議するなどの活動を行い、各事業を推進しました。

具体的には次のとおり。

#### (1) 運営委員会

本委員会では、平成30年度活動方針、同年度予算案等の審議を行い、事業計画・収支予算作成に反映するなど事業運営を推進しました。また、協会周年事業(設立35周年)の基本方針、企画等を検討しました。

#### (2) 情報・広報委員会

本委員会では、協会ウェブサイトの状況分析を行い、新規コンテンツ制作案等を検討しました。

#### (3) IC資格制度検討委員会

本委員会では、資格者数の増加に向けての方針立案や具体的な実施案を検討しました。

#### (4) インテリア普及啓発委員会

本委員会では、展示会事業、「住まいのコーディネートコンテスト」の方針立案や実施推進を行うほか、インテリア関係の調査研究助成のテーマ審査などを行いました。

## (5) K S 資格普及啓発委員会

本委員会では、「キッチン空間アイデアコンテスト」やK S等が行う調査研究への助成事業の審議・実施進捗管理を行ないました。

## 2. 会員活動

### 2-1 協会への入会促進活動

協会ウェブサイトや各種パンフレット等により定期的に広報を行うとともに、本部・支部の各種事業イベントを通じて、幅広く関連企業等に入会を働きかけました。

年度末時点の会員数は次のとおり。

◇年度末会員数：正会員数は175（前年度177）賛助会員は17（前年度18）

### 2-2 「会報」の定期的な発行

協会事業活動のタイムリーな情報を盛り込んで、年4回の会報を発行しました。

## 3. 広報活動

インテリアの普及やI C・K S資格制度の認知度の向上などのために、一般生活者や住宅・インテリア産業界など広く社会に向けて広報・宣伝・情報提供を行いました。

### 3-1 協会ウェブサイトの改善

活躍する資格者のインタビュー記事を通じ、資格の魅力や専門職としての働きがいなど、資格の魅力をより一層訴求できるコンテンツの制作を行いました。

### 3-2 協会事業案内（パンフレット）等の作成・活用

協会事業の広報、I C・K S資格の普及や知名度向上、協会入会促進などを効果的に行うために、イベント等で協会パンフレットを設置し、活用しました。またI C・K S資格の普及を図るため、新たに地下鉄車内広告ステッカーを作成し、都営大江戸線内に掲示しました。

## 4. その他

### 4-1 K S活用アンケートの結果を踏まえた改善策の検討

K S活用アンケートより得られた結果から、K S資格のみならずI C資格も含めて、資格者の増加（新規者の増加、既存者の減少食い止め）や両資格の認知向上が課題であると捉え、連関図法、SWOT分析などの手法により検討を深めました。その結果、資格取得への関心を高めること、また、資格更新の意欲を高めることに繋がる取組みが効果的であることを確認しました。

### 4-2 新規資格者管理システムの構築

資格者の登録情報の一元管理を目指し、情報を管理する「資格者管理システム」と資格者活動支援ツールである「MYページ」のデータベースを統合する新規システム（統合システム）について、基本構想および開発計画の策定を行いました。また、管理業務の効率化のみならず、有資格者等の利用者のユーザビリティ向上も含めて改善することを目的に、システム統合プロジェクトを開始しました。

以上